

# ソーシャルワーク方法論

《担当者名》篠原辰二（非） shinohara@hoku-iryu-u.ac.jp

## 【概要】

多様化複雑化する社会に生じる生活課題の支援に際して、社会資源の開発やソーシャルアクションの方法について理解する。また、近年の自然災害やコロナウイルス感染症のようなさまざまな生活困難事態に対する支援の方法について理解する。さらに、事例分析の方法を学び共通性や一般性の把握を通し、今後の支援に活かす方法を学ぶ。

## 【学修目標】

地域における社会資源の開発やソーシャルアクションの理論と方法について説明できる。

事例分析の意義や方法について説明できる。

家庭支援、地域支援、非常時や災害時の支援の方法について説明できる。

多様化・複雑化した生活課題への対応について説明できる。

災害時のソーシャルワーク実践と意義について説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	総合的かつ包括的な支援の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化・複雑化した生活課題への対応を説明できる。</li> <li>今日的な地域福祉課題への対応を説明できる。</li> <li>分野、領域を横断する支援について説明できる。</li> </ul>	篠原
2	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源の活用・調整・開発の意義、目的、方法、留意点について説明できる。</li> <li>ニーズの集約、提言、計画策定、実施、評価について説明できる。</li> </ul>	篠原
3	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源の分類と内容について列挙することができる。</li> </ul> 《ワークショップによる体験的学習》	篠原
4	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発	事例を用いたグループワークで社会資源の調整と開発の方法について検討を行い、概説することができる。 《ワークショップによる体験的学習》	篠原
5	災害ソーシャルワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害ソーシャルワークの役割と意義について説明できる。</li> </ul>	篠原
6	災害ソーシャルワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例を用いたグループワークで、災害ソーシャルワークの対象、時期について概説することができる。</li> </ul>	篠原
7	災害ソーシャルワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要配慮者の施策の変遷とその背景について概説することができる避難所におけるソーシャルワークの展開と視点について概説することができる。</li> </ul>	篠原
8	災害ソーシャルワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害救助法の全体像と被災者支援の多様な主体・専門性を捉え、災害時の資源開発・多職種連携に必要性について説明できる。</li> <li>住民と社会福祉事業のレジリエンスを高める平時からの取組みの必要性について説明できる。</li> </ul>	篠原
9	事例分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例分析の意義、目的を説明できる。</li> </ul>	篠原
10	事例分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討の意義、目的、方法、留意点を説明できる。</li> </ul>	篠原
11	事例分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例研究の意義、目的、方法、留意点を説明できる。</li> </ul>	篠原
12	ソーシャルアクションによるシステム作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーシャルアクションの意義と展開過程が説明できる。</li> <li>アドボカシーの意義と方法について説明できる</li> </ul> 《ワークショップによる体験的学習》	篠原
13	ソーシャルアクションによるシステム作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドボカシーの意義と方法について説明できる</li> </ul> 《ワークショップによる体験的学習》	篠原

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	家族支援の実際	・ 家族が抱える複合的な生活課題を説明できる。 ・ 家族支援の目的、方法、留意点を説明できる。	篠原
15	地域支援の実際	・ 地域が抱える課題について説明できる。 ・ 多機関や地域住民との協働について説明できる。 ・ 地域アセスメントについて説明できる。	篠原

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

「ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)」日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」に該当する。

【学修の準備】

- ・ 本科目は「ソーシャルワーク論」「ソーシャルワーク方法論 ・ ・ 」との連動した科目であるため、毎回の講義の際に、準備すべきテキストや資料等について事前アナウンスを行う。学生はそれに応じて予習や準備に臨んでほしい。
- ・ 授業で提示する事前・事後課題の学習を行うこと。  
予習2時間・復習2時間

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

- DP2： 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP1： 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP4： 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士の実務経験を活かし、ソーシャルワークに求められるミクロ、メゾ、マクロのスキルに関する基本的知識を講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している